

800MHz帯コンパンダ方式 ENG/EFPワイヤレス送信機

WX-TB840

■概要

本機はダイバシティ／コンパンダ方式ワイヤレス受信機と組み合わせて使用する音声収音用の2ピース仕込み型送信機です。

- RAMSA 800MHz帯B型ワイヤレス受信機が使用できます。
- PLL方式の採用により、B帯30波の周波数の選択ができます。
- 小型ヘリカルアンテナの採用と、マイクコネクタ部が邪魔にならない形状により、仕込みやすくなっています。
- 送信出力切換スイッチにより、10 mWと5 mWの切換ができます。
- デジタルスイッチの採用により、グループとチャンネルを即時に設定することができます。
- コンパンダ方式の採用により、伝送系のダイナミックレンジが向上します。
- 電源表示LEDにより、乾電池の交換時期を表示します。
- 電源は、単三乾電池を使用しています。
- 感度調節つまみと音声入力レベル表示器により、入力レベルの調整が容易にできます。

■定格

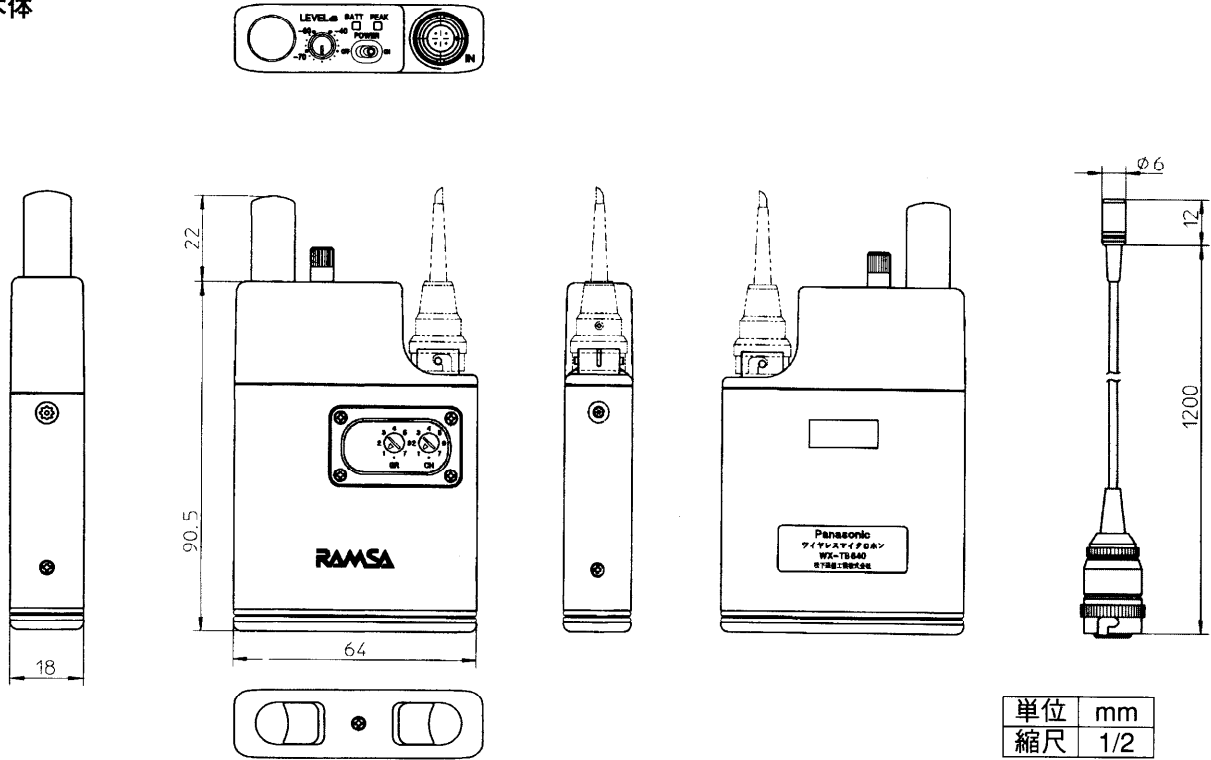
送信周波数：806.125 MHz～809.750 MHz 30波中の1波（周波数表による）	ダイナミックレンジ：100 dB以上 (Aカーブ±4 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時)
電波形式：F3E	プリエンファシス：50 μsec
送信周波数偏差：±20 X 10 ⁻⁶ 以内（25 ±15°C）	呼出名称信号：2値FSK変調
占有周波数帯域幅：110 kHz以下	トーン信号：32.927 kHz 周波数偏移±1.6 kHz
消費電流：115 mA	音声信号処理：2：1デシリア圧縮
使用電池：単三乾電池 アルカリ LR6 (G)1.5 V X 2	周波数特性：40 Hz～15 kHz
電池寿命：（常温連続使用にて）約14時間 アルカリLR6 (G)	ひずみ率：1.0% 以下（±12.5 kHz FM）
電源表示：電源電圧 約2.1 V以下で赤色点灯	入力インピーダンス：約3 kΩ、不平衡
空中線電力：10 mW / 5 mW 切換可能	入力コネクタ：KMC-9BPD-4S（ヒロセ製 4ピン）
発振方式：水晶制御 PLL シンセサイザー方式	音声入力レベル表示：最大変調入力から-8 dB以内で点灯
変調方式：リアクタンス変調方式	周囲温度：0°C～+40°C
アンテナ形式：1/4λヘリカルアンテナ	寸法：64（幅）×90（高さ）×18（奥行）mm
到達距離：受信機WX-RJ800にて見通し約90 m （屋外10 mW時）	質量（重量）：約160 g（電池含む）
最大変調感度：+10 dBV （±40 kHz FM、「LEVEL」-40 dB時）	仕上げ：インディゴブルー色塗装
最大周波数偏移：±40 kHz FM以下	〔付属小型マイクロホン〕
基準変調感度：-60 dBV （±4 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時）	方式：バックエレクトレット・コンデンサ型
基準周波数偏移：±5 kHz （-56 dBV 入力、「LEVEL」-70 dB時）	指向性：無指向性
信号対雑音比：60 dB以上 （Aカーブ、±4 kHz FM、「LEVEL」-70 dB時）	マイクロホン感度：-40 dBV ±3 dB（0 dB = 1V / Pa）
	最大入力音圧：130 dB SPL
	外形：マイク部φ6 X 12（mm）、 ケーブル長約1.2 m

■付属品

ラベリアマイクロホン（WM-LA02）…………… 1	ベルトケース …………… 1
ネクタイピン型マイククリップA（よこ形）…………… 1	電池ホルダー（うち1個は本体に取付済み）…………… 2
ネクタイピン型マイククリップB（たて形）…………… 1	外部マイク用変換ケーブル（XLR-3-11C↔KMC-9BPD-4P）…………… 1
ウインドスクリーン（金網）…………… 1	ソフトケース …………… 1
ウインドスクリーン（ウレタン）…………… 1	

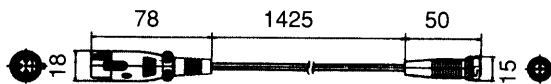
■外観寸法図

●本体



単位	mm
縮尺	1/2

●外部マイク用交換ケーブル



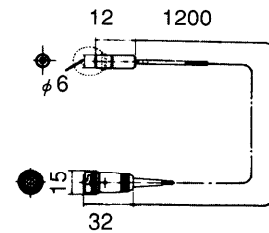
入力コネクタ部 (J1)



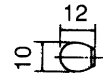
- ①、③、④付属小型マイクロホン
- ②、④一般マイクロホン
- 1. ホット (付属小型マイクロホン)
- 2. ホット (一般マイクロホン)
- 3. +3V
- 4. シールド (GND)

●付属小型マイクロホン

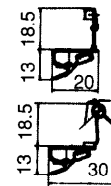
(ウレタンマイクウインドスクリーン取付状態)



●金属マイクウインドスクリーン



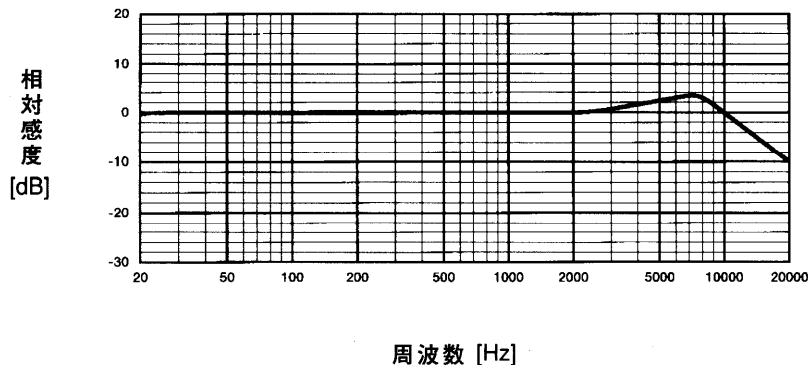
●マイククリップ



単位	mm
縮尺	1/5

■周波数特性

小型マイクロホン特性



■グループについて

- ①同一場所で、複数の送信機を同時に使用する場合
 - 1つのグループに統一して使います。
 - グループ1~4の中から1つ選んでシステムを組んだ場合、最大6チャンネルまで使えます。
 - グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。
- ②隣合った125 kHz間隔の周波数は、お互いに影響することがありますので、100 m以内では使用しないでください。
- ③次の条件下で、十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。

送信機出力	送信機間の距離	受信機と送信機の距離
5 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す
10 mW	1.0 m以上離す	10 m以上離す

周波数 (MHz)

チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
7	806.125	806.375	806.875	807.500	808.500	809.375	809.750
※	B11	B12	B32	B42	B25	B45	B46

※欄のグループ・チャンネルに設定しても同じ周波数を送信できます。(例 B72=B12)

■周波数表 (MHz)

グループ	チャンネル	1	2	3	4	5	6
1	1	806.125	806.375	807.125	807.750	809.000	809.500
2	2	806.250	806.500	807.000	807.875	808.500	808.875
3	3	806.625	806.875	807.375	808.250	808.625	809.250
4	4	806.750	807.500	808.000	809.125	809.375	809.750
5	5	807.625	808.125	808.375	808.750	809.625	
6	6	807.250					

周波数 (MHz)	グループ・チャンネル番号					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		